

八	七	六	五	四	三
月	月	月	月	月	月
中	中	中	中	中	中
旬	旬	旬	旬	旬	旬
上	上	上	上	上	上
旬	旬	旬	旬	旬	旬
下	下	下	下	下	下
旬	旬	旬	旬	旬	旬

一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・五五五	一・五五五	一・五五五	一・五五五	一・五五五	一・五五五	一・六〇〇	一・六〇〇	一・六〇〇	一・七〇〇	一・七〇〇	一・七〇〇	一・八〇〇
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・五五五	一・五五五	一・五五五	一・五五五	一・五五五	一・五五五	一・六〇〇	一・六〇〇	一・六〇〇	二・〇〇〇
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

一・五〇〇	一・五〇〇	一・五〇〇	一・六〇〇	一・八〇〇	一・八〇〇	二・〇〇〇	二・〇〇〇							
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

十	十	十	九
二	一	月	月
月	月	月	月
			下
			旬

一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇
-------	-------	-------	-------

--	--	--	--

一・三〇〇	一・三〇〇	一・三〇〇	一・四〇〇
-------	-------	-------	-------

六、木 材

(イ) 各月別商況

一 月

日本内地向けは採算不利にて手合せなし、南滿は久しきに互る無商内に在荷薄を示したが時局終結を期待し従前通り拱手傍觀裏に越月した。

二 月

舊正月にて一ヶ月の大半休業せるを以て奥地、當地共に極めて閑散裏に經過。

三 月

不明

四月

三月に引続き東部線一帯兵匪横行、取引杜絶の状態を持續し、哈市亦新規取引皆無極めて、不況裏に越月した。

五月

奥地よりの移入全く杜絶、前月同様新規取引皆無、依然極度の不況

六月

前月同様

七月

奥地よりの出廻りは軍用列車の來哈機會ある毎に之を利用する程度の出材めり、東支鐵道東部線より長春向け左記搬出を見たるも概して貨車の配給不圓滑のため賣約材にて積出不能に陥るもの多く之がため新規商談行惱み引続き不況を呈した。相場は原木品薄と哈大洋高のため著るしく昂騰せり。

積出數量 牡丹江驛紅松角材

四十八車

八月

東部線不通、水害のため新規取引皆無

九月

東支鐵道東部線物は鐵道運行回復の兆を呈し、一時南滿向け材に對し弗々商談現はれたるも、依然運行狀態不圓滑のため新規取引は皆無に終つた。市中取引も軍部關係に多少手合せありたるのみにて引続き不況裏に推移す。

十月

列車運行不圓滑のため永らく取引を阻害せられたるも、十月上旬より稍運行順調の域に達し、東部線牡丹江驛其他より新京向け左記出材あり、又十月中商談成立を見たるもの紅松材百五十車見當を示した。市中取引に於ては軍關係及滿商筋の買にて紅松材百車見當を示し、漸く活況を呈するに至つた。相場は左の如く哈大洋昂騰によつて上向けり。

哈爾濱十月末在荷

約五百車

十月中新京向け出材數量

東部線牡丹江より

九一車

董沙河より

一六車

十月	東支東部線	三五	二〇	二七・五
十一月	哈爾濱	四五	四五	四七・五
十一月	東支東部線	三五	三〇	三二・五
十二月	哈爾濱	五五	五二	五三・五
	牡丹江	三八	三五	五六
	牡丹江	三八	三五	三六・五

哈爾濱商品陳列館發刊パンフレット目録

號數	書名	備考
一	東三省特別區市内、郷、自治、暫定規則並施行令	(缺)
二	北滿特産と日本特産商の現状	(同)
三	滿洲里、海拉爾事情	(同)
四	勞農露西亞の國家制度(上)	(同)
五	同 (下)	(同)
六	勞農露國の對外貿易規則集(上)	(同)
七	北滿洲の工業概観	(同)
八	勞農露國の對外貿易規則集(下)	(同)
九	現行勞農商業法規概説	(同)
一〇	現行勞農企業法規概説	(同)
一一	西伯利經濟事情 (上)	(缺)
一二	同 (下)	(同)
一三	北滿地方の阿片	(同)
一四	露國の亞麻と北滿洲の亞麻栽培研究	(缺)

號數	書名	備考
一五	(一)ソウエート憲法史の梗概 (二)金融上より見たる東鐵附屬地土地建物の權利機關	(缺)
一六	(一)ソウエートの最高裁判 (二)ソウエート機關の概要	(同)
一七	勞農露國に於ける取引契約	(同)
一八	(一)村落、郷ソウエート機關の概要 (二)勞農當局の説明せる同國の現状	(同)
一九	(一)同縣州内國貿易部に關する規定 (二)勞農勞働組合法規 (三)ソウエート内に於て外國人が商業に従事する規定	(缺)
二〇	包裝の研究	(同)
二一	ウクライナ共和國の概況	(同)
二二	北滿地方の阿片 (下)	(缺)

二三 北滿に於ける露人及外人關係事業 (缺)

二四 露領極東大觀 (一) (同)

二五 同 (二) (同)

二六 入露の指針

號外 臺灣の旅

二七 (一) 勞農露國內異種民族共和國の近況
(二) 勞農露國及極東購買組合成績

二八 露領極東大觀 (三)

二九 哈爾濱に於ける列國の經濟勢力 上 (缺)

三〇 同 下 (同)

三一 露人の見たる太平洋問題解決の道程(一) (缺)

三二 東支沿線指南 (上) (同)

三三 勞農露國々立極東及農業銀行定款

三四 露人の見たる太平洋問題解決の道程(二)

三五 露領極東概觀

三六 露人の見たる太平洋問題解決の道程(三)

三七 東支沿線指南 (中) (同)

三八 露人の見たる太平洋問題解決の道程(四) (同)

三九 沿海縣事情 (上編)

四〇 一九二五年—二六年度ソウエート國民經濟豫想

四一 大正十四年度勞農露國

四二 沿海縣事情 (中編)

四三 同 (後編)

四四 ソウエート聯邦對外貿易銀行定款 (欠)

四五 極東經濟問題中に現れた東支鐵道(上編)

四六 同 (下編)

四七 公報より見たるソウエート聯邦經濟狀態

四八 ソウエート對外獨占とネーフ

四九 計劃的經濟と外國貿易獨占

五〇 ソウエート極東の教育

五一 ソウエート國營工業

五二 (一) ソウエート一九二五年度の經濟政策
(二) ソウエート工業管理に職業同盟參加

五三 ソウエート利權政策の新傾向

五四 經濟上より見たる勞農露西亞

五五 極東地方金融制度

五六 ソウエート聯邦法規概要(上)

五七 勞農露西亞の財産權

五八 ソウエート聯邦法規概要(下)

五九 ソウエート聯邦に於ける密輸 (缺)

六〇 ソウエート聯邦に於ける外國貿易(一) (同)

六一 同 (二) (同)

六二 東支沿線指南(下編) 乾 (同)

六三 同 (同) 坤 (同)

六四 ソウエート聯邦に於ける經濟事情 (同)

六五 ソ聯邦と共和國並に共產黨と猶太人 (同)

六六 ソウエート文化施設外國人の權利義務私有財産及相續財産 (缺)

六七 西伯利地方極東地方並ヤクトースクアリヤトモンゴリ社會主義ソウエート自治共和國

六八 ソウエート聯邦利權法(上編)

六九 同 (下編)

七〇 ソウエート聯邦に於ける輸出貿易の期節性

七一 ソウエート極東地方の諸統計

七二 洮昂及四洮鐵道案内

七三 一九二六年度蘇國の外國貿易と日蘇貿易

七四 支那領烏蘇里沿岸事情

七五 ヤクーツク共和國 (上卷)

七六 ヤクーツク共和國 (下卷)

七七 最近に於ける蘇聯邦の國民經濟一般

七九 極東經濟及び文化的施設に對する各委員の報告概要

八〇 極東殖民主史

八一 松花江沿岸事情 (缺)

八二 北滿の移民 (同)

八三 沿海縣の水田

八四 ソウエート共和國土地法典 (前編)

八五 同 (後編)

八六 露支東部國境の密輸事情 (缺)

八七 呼海鐵路並に沿線事情 (同)

八八 吉拉林及三河地方事情 (同)

八九	ロシア雜觀 (上)	(缺)
九〇	同 (下)	(缺)
九一	松花江の航運	(缺)
九二	極東の水田	(缺)
九三	ソウエート聯邦概覽	(缺)
九四	北滿に於ける輸入商品(その一)	(缺)
九五	蘇聯邦極東産業計劃	(缺)
九六	極東沿海地方の諸企業(上卷)	(缺)
九七	同 (下卷)	(缺)
九八	北滿に於ける輸入商品(その二)	(缺)
九九	現行外國利權及國民經濟に及ぼす影響	(缺)
一〇〇	旅大並に南滿東支鐵道附屬地とその隣接地帯に於ける支那人の經濟的勢力	(缺)
一〇一	蘇聯邦の課税と反幹部派	(缺)
一〇二	東支鐵道沿線牧畜狀態及同鐵道の對策並に沿海縣北滿の米作	(缺)
一〇三	ソウエート聯邦における原料貯藏高	(缺)
一〇四	吉林省中部各縣事情 (上卷)	(缺)

一〇五	吉林省中部各縣事情 (下卷)	(缺)
一〇六	蘇聯邦の大資本施設 (上卷)	(缺)
一〇七	同 (下卷)	(缺)
一〇八	昭和三年哈爾濱市況	(缺)
一〇九	傅家甸に於ける工業	(缺)
一一〇	蘇聯邦の國營保險	(缺)
一一一	北滿に於ける輸入商品(その三)	(缺)
一一二	哈爾濱に於ける商工組合其他規定集(上)	(缺)
一一三	蘇聯の失業と其對策	(缺)
一一四	哈爾濱に於ける商工組合其他規定集(下)	(缺)
一一五	松花江の航運附屬黑龍江航運の使命	(缺)
一一六	極東露領の殖民	(缺)
一一七	東支鐵道南部沿線事情	(缺)
一一八	極東露領視察記 (一)	(缺)
一一九	同 (二)	(缺)
一二〇	極東露領移民事用地の極要	(缺)
一二一	最近の浦鹽斯德港	(缺)
一二二	東支鐵道西部沿線事情	(缺)

一二三	烏蘇里地方に於ける朝鮮人	(缺)
一二四	東支鐵道問題の真相と其經過(上)	(缺)
一二五	同 (下)	(缺)
一二六	東支鐵道西部沿線事情(下)	(缺)
一二七	傅家甸の商工一覽	(缺)
一二八	ブリヤートモンゴリヤ社會主義ソウエート自治共和國事情 (上)	(缺)
一二九	同 (下)	(缺)
一三〇	最近西伯利産業の發達に就て(上)	(缺)
一三一	同 (下)	(缺)
一三二	昭和四年哈爾濱市況	(缺)
一三三	北滿大豆豆粕及豆油の輸出組織	(缺)
一三四	西伯利地方の鐵産 (上)	(缺)
一三五	同 (下)	(缺)
一三六	東支鐵道東部沿線事情(上)	(缺)
一三七	洮昂四洮及打通線一般經濟事情(上)	(缺)
一三八	同 (下)	(缺)
一三九	瀋海、吉海鐵道沿線事情	(缺)

一四〇	獨逸輸出貿易出張員を顧みて	(缺)
一四一	呼海鐵道と其沿線特産事情	(缺)
一四二	北滿鮮人農村概況	(缺)
一四三	蘇聯邦の内外商業及工業に對する批判(上)	(缺)
一四四	同 (下)	(缺)
一四五	露西亞共和國コルホズ(共同農業)に就て	(缺)
一四六	蘇聯邦ソフホズの研究(上)	(缺)
一四七	齊克鐵道及沿線事情(上)	(缺)
一四八	東支鐵道東部沿線事情(中)	(缺)
一四九	蘇聯邦ソフホズの研究(下)	(缺)
一五〇	北滿に於ける日本商品の劣勢なるものに關する調査(上)	(缺)
一五一	世界的不況と其極東及滿洲市場に及ぼしたる反影	(缺)
一五二	北滿に於ける日本商品の劣勢なるものに關する調査(中)	(缺)
一五三	齊克鐵道及沿線事情(下編)	(缺)
一五四	北滿に於ける日本商品の劣勢なるものに	(缺)

- 一五五 關する調査(下編) (同)
- 一五五 蘇聯邦シンジケート組織購買及農業生産組合
- 一五六 東支鐵道東部沿線事情(下編)
- 一五七 昭和五年哈市商況
- 一五八 蘇聯邦對外貿易の組織及制度
- 一五九 蘇聯邦の羊毛 (上編)
- 一六〇 同 (下編)
- 一六一 蘇聯邦農業に就て
- 一六二 華人の見たる外蒙古
- 一六三 ウクライナソヴェート社會主義共和國(七)
- 一六四 同 (中)
- 一六五 同 (下)
- 一六六 蘇聯邦五年計劃批判 (上)
- 一六七 同 (中)
- 一六八 同 (下)
- 一六九 大黒河事情
附ブラゴウエシチエンスク近況
- 一七〇 滿洲に於ける列國の輸入貿易(上)

- 一七一 同 (下)
- 一七二 松花江沿岸經濟事情 (缺)
- 一七三 昭和六年哈爾濱商況(上)
- 一七四 同 (下)
- 一七五 海拉爾一般事情及經濟狀況並呼倫貝爾概況 (缺)
- 一七六 昭和七年哈爾濱商況

哈爾濱商品陳列館刊行圖書

- ▲極東經濟地理 定價二圓
- ▲露西亞貿易史 同一圓半
- ▲露領極東經濟事情 同一圓
- ▲最近西伯利亞ソヴェート政府 同一圓半
- ▲哈爾濱案內(第十一版) 同十五錢
- ▲哈爾濱地圖 同十五錢
- ▲哈爾濱商工名錄 同八十錢
- ▲北滿及哈爾濱の工業 同一圓
- ▲附哈爾濱の小工業
- ▲日本と滿洲並北滿洲の資源 (非賣品)

(以印刷代書寫) 村上印刷

